

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		高知県立療育福祉センター		公表日		R8年 3月 2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	第三者評価は行っていないが、苦情等につ いては受付窓口を案内し、意見があったことにつ いては療育福祉センター全体で改善するよう にしている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会等の開催はしていないが、研修会等への案内は行っている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的な通信の発行は行っていないが、個別に情報を提供している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 高知県立療育福祉センター

公表日 R8年 3月 2日

利用児童数

R7年12月11日

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			4 無回答 1		必要に応じて支援グッズや教材を準備し、活用しています。またその場合には報告をしていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	1		2		療育福祉センターで主催している研修会等のご案内をしていきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	9				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		4 無回答 1	自己評価が掲載されているのは知っています。	定期的な通信の発行は行っていませんが、個別に情報を提供しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8		1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8		1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8		1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	9			頻繁に相談させていただき、とても助かっています。	

事業所名		公表日				
高知県立療育福祉センター		R8年 3月 2日				
チェック項目		利用児童数			回収数	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・実際に子どもの姿を見て、園の様子を聞いて下さってからアドバイスをいただけるので、具体的に実践につながります。 ・ふれあい遊び等、実践しながら教えていただき、とても分かりやすく保育にもすぐに取り入れることができました。 ・対象児や環境に合わせた助言をしてくださいます。 ・保育士ができる、やってみようと思えるものであった。 ・子どもの姿や行動等の状況に応じた適切な関わりや環境構成を考えてくださいます。 	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と経験からお話しいただけるのありがたいです。学びになります。 ・自分自身が普段やっていることに対してもアドバイスをいただき、先生の知識や技術も豊富で学ばせていただく機会になりました。 ・考えもしなかったことを教えてくださり豊富な知識量に驚かされています。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・対象児やそのご家庭のことをじゅうぶん把握したうえでアドバイスいただけるのでありがたいです。 ・その都度たくさん質問させて頂きましたが、わかりやすく教えていただきました。 ・こちらの意図や思いを尊重し共感した上で助言や励ましの言葉をくださいます。 ・話しやすく、質問に熱心に答えてくださいます。 	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・対象児と併せて他の子どもたちのことも相談させてもらっています。アドバイスを実践することで子どもたちにも変化がみられ、私たちも前向きに頑張れます。 ・保護者からの情報だけでは疑問に思うこと、わからないことが多々あったので、知りたい情報を教えていただいたり、こじか園でやっていることを並行して行うことができました。 ・助言により、支援物や声かけを増やし、対象児の落ち着きが増しました。 ・日々の保育に変化ができました。 ・保護者対応も連携しながらつないでいて、いい方向への関わりへと向かっていっています。 	
5	事業所からの支援に満足していますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解につながり、私たちも子どもたちと一緒に成長させてもらっていると感じます。 ・定期的に来て下さるおかげで相談できるという安心感のもと働くことができます。 ・学ぶことができ、大変よかったです。 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は年度途中からの訪問事業でしたが、丁寧にアドバイスくださり、とても勉強になりました。アドバイスしてもらったことは職員会で共有し、個別ファイルに保存しています。定期的に見直し、実践することで、丁寧な関わりが継続できていると思います。すぐ行動が目立つ児童ではないですが、たからこそ見落としをしないよう丁寧に関わっていかねければと思っています。引き続きよろしくお願いします。 ・どうしたらよいか、悩み等、すぐ実践できる支援方法を提案してくれており、手立てを考えるヒントにもなっています。保護者対応にも力添えいただいたり、職員フォローもして下さり感謝しています。 ・訪問支援を利用させていただいたことで、ふれあい遊びのレパートリーも広がり、不安なことやわからないことも気軽に質問させていただきました。自分自身の支援もアドバイスをいただき、知識や技術が豊富な先生からたくさん学ばせていただく機会になりました。 ・情報共有してきたことで、保護者との信頼関係の構築にも繋がったと思います。児と先生の関わる姿を見ていて、安心できる人とのふれあい・歌遊びを通して楽しく関わることの大切さに気づかされました。成長していく過程の中で新たな不安が出てくると思うので、これからも頼らせていただきたいです。ありがとうございました。 ・私自身、知識が浅いため、いつも本当に助けられています。ありがとうございます。 ・保育所等訪問支援を受けさせていただき、日々担任の困り事や援助の方法などを的確に教えていただくと共に、担任の思いなども受け止めて下さり励みになっております。ありがとうございます。これから子どもたちのためによりよい支援をしていきますので、助言をよろしくおねがいいたします。 					<p>貴重なご意見をありがとうございました。 今後連携を図りながら支援に努めていきたいと思っておりますので、よろしくおねがいいたします。</p>	

・職員の困り事を受け止め、具体的に又、細かい部分まで指導していただき、学ぶことが沢山ありました。子どもの行動の奥にあるものが、自分たちだけでは捉えきれない部分であったり、見方、考え方、それに対する支援方法などに保育士が気付く時間がもてました。回数を重ねるごとに保育士の意欲、やる気が行動に表れるようになりました。保育士自身が変わってきたことが、何より嬉しいです。

・日々の悩みが継続して訪問してくれることにより相談ができ、学びと共に安心感をいただいています。ぜひ来年度も引き続きお願いしたいところです。よろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高知県立療育福祉センター		
○保護者評価実施期間	R7年12月11日		～ R8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	R7年12月11日		～ R7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	R7年12月11日		～ R8年1月23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11施設	(回答数) 8施設
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療と福祉の連携により専門的な支援の提供ができる	・医療(診療やリハビリ)との連携により、対象児を多方面からアセスメントし、必要に応じてリハビリ担当より助言を受け、訪問先に伝えることができています。	
2	関係機関や保護者との連携ができ、良好な関係を築いている	・訪問先の状況に応じた取り組みを提案し、実践を確認、改善を考えるPDCAサイクルの体制ができています。 ・広くこどもの発達を捉え、療育実践の経験から、こどもをアセスメントすることや支援の工夫など、生活に即した具体的な助言や支援の提案をしている。 ・訪問先や保護者に対し、当センター主催の研修会の案内し、また希望の施設にはこちらから出向き、職員対象の出張研修を行い、支援を広げる取り組みを行っている。	
3	県全域を対象としている	支援や通所事業所が少ない地域への支援も行き、県下全域の後方支援にあたっている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材育成	職員の異動等により、継続的な育成が難しい	実践の経験が少ない職員に対して、OJTや外部研修等により支援スキルの向上を目指していく。
2			
3			